

海岸よろず相談所だより

令和2年9月1日
第76号
国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

グンバイヒルガオ（石崎浜）



記事

- ◇砂浜回復の早期実現に向けた、養浜工事を行っています
- ◇養浜の施工 アカウミガメ上陸・産卵に配慮しながら
- ◇宮崎海岸の動植物 アカウミガメ
- ◇石崎浜ビーチクリーン中止について

砂浜回復の早期実現に向けた、養浜工事を行っています

宮崎海岸（自然砂浜）の侵食要因の一つでもある北から南への沿岸の潮の流れに対し、沖に突き出した突堤で、南へ流失する砂を捕捉する計画としています。

そこで、少しでも早く砂の捕捉効果を実現するため、突堤周辺のコンクリート護岸区間により動きにくい川砂利・川砂による養浜を事前に行うことで、北から南へ流れてくる砂で自然の砂浜を回復しようとするものです。

令和2年度は、一ツ葉有料道路のシーガイアIC付近と、一ツ葉パーキングエリア付近の突堤で施工を行う予定としていますので、作業範囲には立ち入らないようにご協力お願いいたします。



第1補助突堤付近
（一ツ葉パーキング）

養浜の施工 アカウミガメの上陸・産卵に配慮しながら

宮崎海岸では、現在、砂浜の回復を目的に養浜を行っています。宮崎海岸はアカウミガメの産卵地としても知られており、5月から8月にかけてアカウミガメが産卵のため上陸します。宮崎海岸の一部で、海岸侵食のため浜崖ができ、アカウミガメの上陸が困難と思われる箇所がありました。アカウミガメの上陸・産卵が多く見られるところについては、上陸・産卵に配慮しながら、養浜を行っています。



【施工前】



【施工後】

裏面へつづく

【事務連絡】宮崎海岸出張所においても、新型コロナウイルス感染防止のため「3密」、密接・密集・密閉を避け、新しい生活様式での対応を行っています。ご理解・ご協力をお願いします。

宮崎海岸の動植物 アカウミガメ

宮崎海岸には、アカウミガメが産卵のため、毎年5月から8月にかけて上陸してきます。日が沈んだ後、21時頃から朝方までの間に上陸し、産卵場所を決めたら、後ろ足を交互に使う器具に穴を掘り、1回に80～120個程度の卵を産みます。卵はちょうどピンポン球のような形をしています。また、一シーズンに4回産卵のため上陸すると考えられています。卵がふ化するまでに要する時間はおよそ2ヶ月程度で、アカウミガメのメスかオスかはふ化した時の地中の温度で決まるそうです。ふ化した仔ガメは黒潮にのって、ハワイや北アメリカ大陸の沿岸で大きくなり、30年後再び産卵に戻ってくると考えられています。

なお、アカウミガメは天然記念物に指定され、保護の対象となっています。もしも産卵のため上陸したアカウミガメを見つけたときは、そっと見守ってください。



石崎浜ビーチクリーン中止について

毎年5月と8月に「宮崎の海岸を美しくする会」及び「なぎさ・保安林に親しむ会」により実施しております【石崎浜ビーチクリーン】は、みなさまご存じのとおりコロナウィルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。この清掃活動に関しては、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えています。コロナウィルス感染症が収束し、またみなさまと一緒に清掃活動を行える状況になりましたら、どうぞご協力よろしくお願いたします。

きれいな海岸を守り、子供たちに美しい海岸を残しましょう。



【昨年8月 石崎浜ビーチクリーンのようす】

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL:0985-62-7050/FAX:0985-62-7051

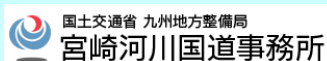
〒880-0211 宮崎市佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/index.html>

ご希望がありましたら、
学校・公民館等で説明します。



<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>



www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp

